

# ヨツバヒヨドリ

*Eupatorium chinense ssp. sachalinense*

キク科



ヨツバヒヨドリ。右は類似種のヒヨドリバナ

## 名前の由来

茎に段になって4枚ずつ葉が輪生することと、野鳥のヒヨドリがさえずる頃に開花することから名付けられた。漢字名：四葉軻

## 形態的特徴

高さ1~1.5mほどで、直立する。葉は先がとがった楕円形で（披針状長楕円形）、葉は軟らかく、両面に短い毛があり、縁には鋭い鋸歯（重鋸歯）をもつ。茎上に段になって葉を4枚ずつ輪生するが、3枚や5枚の時や、完全に輪生せず、葉のつく位置が上下にずれる場合もある。花は淡紅色で細かく筒状で、上部で枝分かれした茎の頂に多数まとまってつく（花序はまばらな散房状）。

類似種と見分け方：ヒヨドリバナ、サワヒヨドリ。

ヒヨドリバナは2枚の葉が対生する点異なるが、ヨツバヒヨドリの葉が完全に輪生せず、2枚ずつに分かれる場合、ヒヨドリバナとの区別が難しい場合もある。サワヒヨドリの葉は2枚が対生し、それぞれの葉が3裂して6枚の葉が輪生状につく場合もある。また葉にはよく目立つ3脈がある。

## 生育環境・分布

丘陵地や山地の日当たりのよい林縁や草原に生育する。

北海道内分布は、全道。

分布：国外分布は、樺太。

十勝地方では、丘陵地や山地の日当たりのよい林縁や草原で見られる。

国内分布は、北海道、本州近畿地方以東、四国。

## 生活史

開花時期：7月下旬~9月中旬。開花までの年数：不明。

寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■普通ヨツバヒヨドリは2倍体(2n=20)だが、ヒヨドリバナ倍数体との交雑個体と考えられるヨツバヒヨドリ倍数体もある。ヒヨドリバナ倍数体は受精をせずに種子を形成する無融合生殖という生殖方法をとるが、ヨツバヒヨドリ倍数体も同様に無融合生殖をおこなう。2倍体と倍数体のヨツバヒヨドリは似ているが、倍数体のものは花粉の形が異常になっている。

■ヨツバヒヨドリは発汗や解熱、糖尿病予防やはれものに効果があり、夏の開花期に刈り取って陰干ししたものを煎じて服用するとよいといわれている。



ヨツバヒヨドリ

## 配慮事項

生育している環境全体が重要である。

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期					■■■■■							
結実期					■■■■■							

## 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道薬草図鑑 野生編」山岸喬 北海道新聞社 1992

「北海道植物図譜」滝田謙謙 自費出版 2001

「森林で遊ぼうシリーズ3 おもしろい草花の話」北海道立林業

「日本の野生植物 草本Ⅲ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1981

試験場 北海道林業改良普及協会 1998

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ